

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技7							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
柔道整復学科・夜間部	2年	3・4期	福川 郁子			○	
分野区分		教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野		柔道整復実技			実技	1	20
科目概要							
代表的な上肢および下肢の脱臼、顎関節脱臼について、柔道整復師に求められる基礎的な知識を確認したうえで、基礎的な治療技術について学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		代表的な上肢および下肢の脱臼、顎関節脱臼の治療時に求められる基礎的な知識を習得していることを確認し、さらに基礎的な治療技術を習得している。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		①代表的な上肢および下肢の脱臼、顎関節脱臼の治療に伴う基礎的な知識を習得し、臨床現場で活用できる。 ②代表的な上肢および下肢の脱臼、顎関節脱臼における基礎的な整復法、固定法を実践できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
各関節の脱臼の理解に必要な基礎的な解剖学ならびに柔道整復学の知識。基本包帯法。							
教科書・参考書							
『柔道整復学・実技編 第2版』全国柔道整復学校協会監修、南江堂 『柔道整復学・理論編 第2版』全国柔道整復学校協会監修、南江堂							
受講上の注意							
単元毎に適宜座学による知識の確認を行います。実習時は白衣を着用してください。タオルなどを持参していただくことがあります。準備、片付けは協力して素早く行いましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チャレンジテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	実技試験実施要項			90		10	100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	脱臼整復の基礎			-			
第2回	肩鎖関節脱臼① 知識の確認			理論編 p225-228			
第3回	肩鎖関節脱臼② 整復法、固定法			実技編 p209-220	綿包帯、三角巾、スポーツタオル 3本		
第4回	肩関節脱臼① 知識の確認			理論編 p239-245			
第5回	肩関節脱臼② 整復法			実技編 p221-231			
第6回	肩関節脱臼③ 固定法			実技編 p221-231	綿包帯、三角巾、スポーツタオル 1本		
第7回	肘関節脱臼① 知識の確認			理論編 p279-283			
第8回	肘関節脱臼② 整復法			実技編 p232-240			
第9回	肘関節脱臼③ 固定法			実技編 p232-240	綿包帯、三角巾、クラメル		
第10回	肘内障 知識の確認、整復法			理論編 p283 実技編 p241			
第11回	手指の脱臼① 知識の確認			理論編 p339-344			
第12回	手指の脱臼② 整復法、固定法			実技編 p245-256	綿包帯		
第13回	股関節脱臼 知識の確認、整復法、固定法			実技編 p344-351	柔道帯、綿包帯		
第14回	膝蓋骨脱臼 知識の確認、整復法、固定法			実技編 p352-355	綿包帯、短パン		
第15回	足趾の脱臼 知識の確認、整復法、固定法			実技編 p356-359	綿包帯		
第16回	顎関節脱臼① 知識の確認			理論編 p163-166			
第17回	顎関節脱臼② 整復法、固定法			実技編 p412-416	綿包帯、スポーツタオル 1本		
第18回	まとめ			-			
第19回	定期試験			-			
第20回	総括			-			
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院および整形外科で勤務した実務者の立場から展開する。							
メールアドレス							
inagawa-t@nihonisen.ac.jp							